

平成30年第4回糸魚川市議会定例会会議録 第4号

平成30年12月11日（火曜日）

議事日程第4号

平成30年12月11日（火曜日）

〈午前10時00分 開議〉

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 一般質問  
日程第3 議案第104号及び同第105号

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
日程第2 一般質問  
日程第3 議案第104号及び同第105号

〈応招議員〉 19名

〈出席議員〉 19名

1番	平澤 惣一郎 君	2番	東野 恭行 君
3番	山本 剛 君	4番	吉川 慶一 君
5番	五十嵐 健一郎 君	6番	滝川 正義 君
7番	佐藤 孝 君	8番	新保 峰孝 君
9番	田原 実 君	10番	保坂 悟 君
11番	笠原 幸江 君	12番	斉木 勇 君
13番	中村 実 君	15番	田中立 一 君
16番	古川 昇 君	17番	渡辺 重雄 君
18番	松尾 徹郎 君	19番	高澤 公 君
20番	吉岡 静夫 君		

〈欠席議員〉 1名

14番 大滝 豊 君

〈説明のため出席した者の職氏名〉

市	長	米田	徹	君	副	市	長	兼	務	部	長	兼	務	藤	田	年	明	君							
副	市	長	木	村	英	雄	君	市	民	部	長	兼	務	山	本	将	世	君							
産	業	部	長	見	辺	太	君	会	計	管	理	者	兼	務	渡	辺	成	剛	君						
企	画	定	住	課	長	渡	辺	孝	志	君	財	政	課	長	大	沢	喜	昭	君						
能	生	事	務	所	長	土	田	昭	一	君	青	海	事	務	所	長	猪	又	功	君					
市	民	課	長	小	林	正	広	君	環	境	生	活	課	長	五	十	嵐	久	英	君					
福	祉	事	務	所	長	川	合	三	喜	八	君	健	康	増	進	課	長	横	澤	幸	子	君			
商	工	観	光	課	長	大	嶋	利	幸	君	農	林	水	産	課	長	池	田	隆	君					
建	設	課	長	五	十	嵐	博	文	君	復	興	推	進	課	長	斉	藤	喜	代	志	君				
会	計	課	長	大	久	保	岳	生	君	ガ	ス	水	道	局	長	木	村	清	君						
消	防	長	丸	山	幸	三	君	教	育	長	田	原	秀	夫	君										
教	育	次	長	井	川	賢	一	君	教	育	委	員	会	こ	ど	も	教	育	課	長	石	川	清	春	君
教	育	委	員	会	こ	ど	も	課	長	兼	務														
教	育	委	員	会	生	涯	学	習	課	長															
中	央	公	民	館	長	兼	務	小	島	治	夫	君	教	育	委	員	会	文	化	振	興	課	長	兼	務
市	民	図	書	館	長	兼	務						博	物	館	長	兼	務	磯	野	茂	君			
監	査	委	員	事	務	局	長	伊	藤	章	一	郎	君	市	民	会	館	長	兼	務					

〈事務局出席職員〉

局	長	松	木	靖	君	次	長	山	川	直	樹	君
主	査	上	野	一	樹	君						

〈午前10時00分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

欠席通告議員は、大滝 豊議員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長（五十嵐健一郎君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、1番、平澤惣一郎議員、11番、笠原幸江議員を指名いたします。

## 日程第2. 一般質問

○議長（五十嵐健一郎君）

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。〔9番 田原 実君登壇〕

○9番（田原 実君）

おはようございます。糸魚川21クラブの田原 実です。

通告書に基づき以下の点を伺います。

1、地域医療の現状と課題、看護師等の確保など行政対応について。

糸魚川市の医療機関の看護師不足は慢性的な状況です。糸魚川市の広報11月号でも「看護師不足」を特集していました。その反響はいかがだったでしょうか。

近い将来、糸魚川総合病院で診療科が縮減され、能生国保診療所の運営ができなくなる可能性もあると聞きます。今は可能性とされていますが、既に差し迫った現実との危機感を市民が持ち、看護師をふやす取り組みが必要です。市民に糸魚川圏域の医療体制存続が困難となっていることを理解していただき、どんなことでもよい、みずからが医療体制確保のために行動していただくことも必要です。

「医療を守る市民をつくる」取り組みについて、市長、教育長に伺います。

(1) 人口減、財源不足が顕著になってきた現状における糸魚川圏域の地域医療体制の確保について伺います。

(2) 糸魚川圏域の地域医療の中核を担う厚生連糸魚川総合病院の運営と今後の行政対応について伺います。

(3) 看護師を中心とする看護スタッフ、医療職不足が顕在化する中での戦略的、積極的な医療人材の育成、確保の施策について伺います。

2、市内公共交通の現状と課題、その行政対応について。

(1) 人口減、財源不足が顕著になってきた現状における糸魚川圏域の公共交通の確保について伺います。

(2) 糸魚川圏域の公共交通を担う鉄道、バス、タクシー、ほかの運営について、特に大糸線や市内路線バスの存続と今後の行政対応について伺います。

(3) 病院利用、通学、通勤に便利な公共交通を望む市民ニーズへの対応について伺います。

(4) えちごトキめき鉄道新駅押上駅及び既存駅舎と地域や集落と連携した利活用について伺います。

(5) JR大糸線やえちごトキめき鉄道の景観と個性を生かした観光やツーリズム、インバウン

ド対応について伺います。

3、糸魚川市の責任で進める復興再生事業、雁木の街並み、にぎわい創出広場、にぎわいのトライアングル、市民要望の聞き取りと実現、駐車場、地場産食材マーケット、まちなか図書館等について。

(1) 復興支援、復興計画づくりの収支について、以下伺います。

- ① 国からの支援、県からの支援、民間からの寄附金等収入、市予算についてのまとめを伺います。
- ② 国関係者への支出、復興計画づくりへの支出、外部委託費など予定される支出のまとめを伺います。
- ③ コンサルタント、設計業者等への外部委託業務、打ち合わせ方法、プロセスの開示、効果の確認について伺います。

(2) 街並みのシンボルとされている雁木について、以下伺います。

- ① 雁木の連続性と統一感について伺います。
- ② 切れ目、すき間のある雁木、両側がオープンで雨風が吹き込む雁木は雁木じゃないという市民からの評価について伺います。

(3) にぎわい創出広場及び建物について、以下伺います。

- ① 本町通りの歴史的な街並みとの調和について伺います。
- ② 建設計画の責任者、外注（計画委託）先、計画づくりに参加した市民との打ち合わせの情報公開について伺います。
- ③ 建設費用、間取り、規模、構造、仕上げ等について伺います。
- ④ にぎわい広場には樹木がありません。その理由を伺います。
- ⑤ 運営計画の責任者、運営委託先、計画づくりに参加した市民との関係について伺います。

(4) にぎわいのトライアングルとは何だったのか。最近、にぎわいのトライアングルの内容が変更されましたが、その理由について。

また、市民からの納得は得られましたか。伺います。

(5) 9月定例会でも質問しましたが、被災者の方や近隣住民の皆さんからの要望について伺います。

- ① 新鮮な食材を買うことができる施設（例としてJA食彩館）の設置について伺います。
- ② 日常的なにぎわい創出について伺います。
- ③ まちなか図書館と相馬御風学習館の設置について伺います。
- ④ 駐車場の設置と管理運営について伺います。

以上、1回目の質問です。

なお、昨日の一般質問にて、東野議員、新保議員に駅北大火からの復興まちづくりについてご答弁されておりますが、私は、私の考えと思いで今回通告をしております。既に答えたとか、たまにあります十把ひとからげの市長答弁ではなく、一つ一つを市民の皆様様に説明するつもりで具体的に丁寧にご答弁をいただきたく、よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

田原議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、地域の限られた医療人材等を有効活用し、持続可能な地域医療提供体制が確保できるよう、市民と医療・福祉関係者、行政が協働した取り組みを進めてまいります。

2点目につきましては、糸魚川地域唯一の基幹病院として医療機能の維持・向上が図られるよう、医師や看護師を初めとした医療職の確保や医療の充実に向けて、引き続き、病院や県と連携をして取り組んでまいります。

3点目につきましては、修学資金貸与事業に加え、医療関係職員定着事業の推進に向けた取り組みを強化し、医療従事者の確保と人材育成に努めてまいります。

2番目の1点目につきましては、地域の皆様が住み続けていくための大切なものであると捉えておりますので、今後も維持・確保に努めてまいります。

2点目につきましては、生活利用に加えて、観光での利用も考慮し、それぞれの公共交通の特徴を生かしながら将来にわたって維持確保していけるよう地域、関係団体と連携した利用促進を図ってまいります。

3点目につきましては、地域の皆様との意見交換を行うとともに交通事業者等の協議会と連携し、利用実態を考慮しながら対応してまいります。

4点目につきましては、地域のまちづくり活動とも連携して、鉄道の利用促進や地域の活性化、マイレール意識の向上につなげていく必要があると考えております。

5点目につきましては、リゾート列車「雪月花」の活用やサイクルトレインの運用などにより、鉄道旅行の魅力を高めることで観光誘客やインバウンドの受け入れに努めてまいります。

3番目の1点目の1つ目につきましては、30年度9月補正予算までで国支出金、見舞金等の合計が約18億円となっております。

2つ目につきましては、復興計画づくりにおいて用地測量、計画策定、その他調査の外部委託費全体で約8,200万円となっております。

3つ目につきましては、被災者に寄り添いながら早期復興に取り組むために各種調査や設計業務について外部委託しており、原則、庁内で打ち合わせを実施いたしまして、検討状況については、被災者・関係者説明会やブロック別意見交換会など、検討段階も含めてお示ししながら進めております。

2点目につきましては、景観・不燃化ガイドラインに沿って雁木をつくることにより、街並みの連続性や景観の調和が保たれ、通りの皆様方のおもてなしの気持ちを表現するものと考えております。

3点目の1つ目につきましては、景観・不燃化ガイドラインに則した形で周辺との調和を図ってまいります。

2つ目につきましては、責任者は市であり、委託先は株式会社ワークビジョンズであります。市民との打ち合わせ結果については、被災者・関係者説明会等で説明をさせていただいております。

3つ目につきましては、建物本体で約1億8,000万円を見込んでおり、間取りにつきましては、オープンスペースが2カ所、キッチンスペースが1カ所となっております。規模は、延べ床面積446平方メートル、鉄骨づくり一部2階建てであります。今後、詳細設計を進めてまいります。

4つ目につきましては、現在設計中であり、樹木につきましても検討してまいります。

5つ目につきましては、運営計画の責任者は市であり、運営委託先は民間事業者等を想定いたしております。計画づくりに参加いただいた市民や団体については、施設を利活用するプレーヤーとなることを期待いたしております。

4点目につきましては、老舗事業所とにぎわいの拠点施設を結ぶエリアに人の流れをつくりたいと考えているものでありまして、変更はいたしておりません。

5点目の1つ目につきましては、食彩館のような施設については、販売品や採算性の確保の点において、現状では難しい状況であります。

2つ目につきましては、町なかに人の流れがあり、まちに活気があることがにぎわっているという状態と考えております。

3つ目につきましては、東野議員のご質問でもお答えいたしました。子育て支援を公共機能の柱に据える中で、施設の基本的な構想や計画づくりの際の検討に加えていきたいと考えております。

4つ目につきましては、従来の拡充や、また小規模の駐車場で分散となる配置で考えております。また、管理運営につきましては、関係者の皆様と協議をしてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、質問の順番を変えて市内公共交通について2回目の質問からです。

現在、糸魚川市は公共交通の確保に総額でどのぐらいの支出をしていますか。また、人口減、財源不足が続くことを考えたときに、5年、10年、20年先にはどのぐらいの支出が可能なのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

おはようございます。

お答えいたします。

糸魚川市の公共交通を担う鉄道、路線バス、あと乗り合いタクシー、コミュニティバス、あと高速バス、これらの確保に係ります平成29年度の決算額でございますが、合計で2億1,080万円でございます。そのうち路線バス、乗り合いタクシー、コミュニティバスの運行に係ります補助金の経費、市が支出しております補助金の合計額は、1億4,400万円でございます。

ご質問の将来的な支出可能額につきましては、ちょっと明確にはお答えできないところでござい

ますが、平成28年度に策定をいたしました糸魚川市地域公共交通網形成計画におきましては、路線バス及びコミュニティバス、乗り合いタクシーの運行に係る補助金額の合計目標値を定めております。そこを平成33年度の決算において目標値を1億1,600万円と設定しております。この目標値につきましては、ほぼ現行のバスのネットワークダイヤと近い形での運行が固まったのが平成23年度でございました。今とほとんど運行が変わらないにもかかわらず、補助金がふえてる状況ですので、その時点の数値を目標としたいということで設定したものでございます。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

大糸線ですが、何のために、誰のために必要と考えていますか。大糸線の存続と今後の行政対応について、改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

大糸線は、通勤、通学、通院、あと買い物等、市民の生活のため、また、市内外、県内外の皆様ビジネスですとかレジャーの利用のため、また、広げては訪日外国人の観光を目的とした利用のためにも必要な社会生活、産業活動を行うために必要な土台施設、インフラであるというふうに市では考えております。今後も大糸線の存続に向けまして、沿線の周辺自治体ですとか関係団体とも連携しながら、利用促進を図ることによって存続を目指していきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、市内路線バスは、何のために、誰のために必要と考えていますか。市内路線バスの存続と今後の行政対応について、改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

路線バスは、自動車を運転できないお子様ですとか、高齢者にとってなくてはならない生活の足であるというふうに考えております。路線バスは、比較的鉄道に比べまして、観光利用というよりは市民生活を支える移動手段という役割が大きいことから、これは将来にわたって維持・確保して

いく必要があるというふうに捉えております。今後は、利用実態を考慮しながら利便性と効率性、この2つを備えたものになるよう、先ほどの市長答弁でもございました地域公共交通協議会ですとか、地域の皆様と意見交換を続けて、存続に図りたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

以前に青海方面からの病院利用に便利なバス路線見直し等、ダイヤ改正をこの席でお願いいたしました。どうなりましたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

地域の皆様から、青海地域の皆様から買い物ですとか通院が不便という声が寄せられております。これら解消に向けまして、ダイヤにつきましては、平成31年の春の改正に向けまして、市内路線バスの路線の再編を予定しております。その中で、交通事業者が今も行っております、定期的に行っておる乗降量調査の結果をもとに、例えば明らかに利用の少ない時間帯からニーズのある時間帯にダイヤを移すとか、そういう利用しやすいダイヤですとか路線になるような設定を工夫してつくり上げていきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

続いて、えちごトキめき鉄道の利用促進について伺います。

新駅押上駅建設の設計、工事発注はどのような状況ですか。地元押上区からの要望はどのようなものですか。また、どのような協議や決定がありましたか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

押上新駅の現状につきまして、現在、土木、建築、電気関係の詳細設計を進めておるところでございます。この詳細設計の成果をもちまして、できれば年度末、遅くても来年度当初ぐらいから国への認可の手续、諸手続が必要になってまいります。それに入っていくたいというふうに予定しております。



現在まで、押上地区の皆様とは、新駅をきっかけとしたまちづくりの方向性ですとか、また、駅そのものの基本的な施設の整備内容について意見交換、お話をさせていただいております。その中では、待合室ですとかトイレの設置、あと駐輪場、駐車場等の新幹線の高架下の利用という、利活用ということもご提案をいただいております。いただいたご意見を可能な限り実現できるように詳細設計に反映したりですとか、その他関係機関との協議を今現在進めておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

駅の開業日を早く明示してほしいという声が大きくなっています。開業は、いつを目指していますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今ほど申し上げました詳細設計後に予定しております国への認可手続、これに要する時間というのがどうしても、えちごトキめき鉄道も含めて不明確だという状況でございます。この手続自体が終わらないと工事には着手できません。そのため、ある程度、手続の進捗ぐあいを見て、見通せる状態になるまで、今、公表は差し控えさせていただいております。

ただ、国との協議を円滑に進めて、可能な限り早い段階で皆様のほうへお示しできるように今取り組んでいきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

まだ言えないと。ただ開業日を示すことは、糸魚川高校への進学を検討する子や親にとっては、非常に大事なことです。そのことを理解していますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

今の議員ご指摘のとおり、ごもっともだというふうに考えております。可能な限り早い段階でお示しできるように努力してまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

2020年3月開業を目指すという話、工事の発注予定が決まったという話など、私の耳に入ってきていますし、地元押上区と駅周辺の整備の協議も進んでいる事実があります。それで、押上区の皆さんで駅の名前は何か話し合っていて、盛り上がっているらしいです。であれば、早くに開業時期を年度だけでも示して、周辺整備や将来構想を市と地元の一部の人だけでなく、多くの市民がかかわってまちづくりを進めるようにすることも市の仕事、役割と思いますが、市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今、田原議員のご指摘のとおり非常に切望されておる駅でございます。それだけ市民の皆様方の関心も、また地元のみならず高いものと捉えとるわけであります。

しかしながら、我々はやはりある程度のところへ来たらお示ししなくてはいけないと思っておりますが、今の段階では、余りにも漠然とし過ぎておるところがございます。そして、下手にまた希望が、違ったところに行っては困るわけでございますので、いましばらく、もうつくることは間違いないわけでございますので、いましばらくお待ちいただきたいと思っております。今ほど課長が申し上げたとおり、認可の事業に入れば、ある程度は、またはっきり返ってこなくても推測の中でお示しできるものと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

早く進めていただきたいと思えます。

押上駅周辺整備のための土地確保や施設整備、何よりもその財源準備は市の仕事であります。加えて、鉄道と駅利用者をふやす工夫も鉄道会社や地元区に委ねるだけでなく、市が率先していかなければならないと思えます。このあたり、市の考えとアクションプランを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

市が率先をして取り組むということは、もちろん必要と考えております。また、沿線の周辺の住民の皆様、あと企業、団体、あともう一方は鉄道事業者、これらとの関係者との取り組みというの

も積極的に連携を図って取り組んでいく必要があると私どもは考えております。それらに連携することによりまして、相乗効果等が生まれて、さらなる取り組みにつながっていけばという期待もございます。鉄道を利活用したまちづくり、鉄道を支える人づくり、魅力的なまちづくり、利用しやすい鉄道の環境づくりなどを柱として、新駅におきましても積極的に取り組みまして、駅利用者だけではなくて、ひいては鉄道利用者全体の増加につなげていければというふうに考えております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

わかりました。よろしく願いいたします。

ちょっと押上駅から離れるんですけども、既存の鉄道駅舎の地域や集落と連携した利活用についても伺います。

これは鉄道と駅利用者をふやすために、駅舎を核としたまちづくりを改めて考えるということですが、例えばえちごトキめき鉄道ならば市振駅から筒石駅までが、それぞれが個性的な駅であり、また、市外の人から見ると魅力的な集落に位置することから、駅舎をコンバージョンして、オフィスや商店として使いたい人や、そこに住んでみたい人がいるのではないかと私は考えるものです。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

駅舎というのは、公共的な施設であり、周辺に住む人たちですとか、駅を利用する人たち、周辺の人たちにとって集う場所、いわゆる核となるポテンシャルを秘めて、位置的にもそういうポテンシャルを秘めておる施設かというふうに考えております。全国的には、鉄道事業者がコンペ方式で駅舎の一部の活用というのをアイデアを募集しているという事例もございます。市内ですと、まずはJR西日本ですとか、えちごトキめき鉄道との協議が必要になってまいります。これは仮の話になってしまいますけど、これからの先進地の事例を少し勉強させていただいて、条件が整う駅で、地元との協議も整えば有意義な取り組みであるというふうに捉えさせていただきました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

質問の意図を組んだご答弁だったと思います。ありがとうございました。

えちごトキめき鉄道の妙高はねうまラインの二本木駅は、明治44年の開業の駅で鉄道遺産としての活用が始まりました。これに合わせて大正元年開業の市振駅を鉄道遺産プラスアルファとして

活用できないか。今後、ネット環境の整備が進めば、ここがヒスイ拾いと釣りができるサテライトオフィスにできるのではないかと、そんなことを私は考えていますが、市振が地元の見辺部長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

見辺産業部長。〔産業部長 見辺 太君登壇〕

○産業部長（見辺 太君）

お答えします。

市振駅は、味のある駅だなど、駅舎だなど思っております。当然、親不知駅も同様に古いものを残しております、非常に味のあるものだと思っております。また、ヒスイ拾いのほうも国石ヒスイのふるさととなってからは、来られる人も多くなってるなというところは身にしみしております。また、親不知漁港や市振漁港に釣りに来ている人も相変わらずたくさんおられます。

そういった中で、市振駅をモチーフといいますか題材にして、海、それからヒスイを切り口として、人を集めるとかそういったことについては、いい切り口なんだろうなというふうには思っております。

ただ、なかなか地元といったところが今、いろいろプレーヤーといいますかね、地元のプレーヤーとして、誰かいないとなかなか難しい面もあるかなというふうには思っております。そういったところが今後の課題ですけれども、ヒスイ拾い、あるいは釣りといったところを観光面も含めて取り組んでいければいいかなというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市振集落にお住まいの方、非常に地域づくりに熱心な方がいらっしゃるということを私知っておりました。そういった方と、それから東京に本社のある先端の企業が、そこにサテライトオフィスを設けて、人がそこでやってくるという、何かそういうめぐり合わせみたいなものが起きたらいいんじゃないかなと考えていましたので、今後、ご検討いただければと思います。よろしくお願いたします。

そういったことで駅や鉄道を生かす、そのことのアイディアを持ち寄って話し合ってみることが必要かと思っております。そして、今、私たちが取り組むべきことは、大糸線やえちごトキめき鉄道の景観と個性を生かしたツーリズム、インバウンド対応です。私は、以前より議会一般質問で取り上げていますが、その後、具体的に変わったものがあれば伺いたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長 〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

その後の取り組みといたしましては、リゾート列車の雪月花と連携した取り組みといたしまして、

雪月花の乗車後、糸魚川駅におりた方に対しまして、観光タクシーで回る旅行商品を観光協会のほうで設定をしております。まだ始まったばかりで、利用は低調ですけども、えちごトキめき鉄道の関係者からは、ありがたい取り組みだということで、引き続きPRに努めてまいりたいというふうに考えております。

また、大糸線とえちごトキめき鉄道におきまして、北アルプス日本海広域観光連携会議とJR西日本と連携をいたしまして、サイクルトレインの取り組みを行っております。これは近年のサイクリングブームということで、海と山のコース、両方楽しめるということで、大変好評でありましたので、今年度はJRの列車の都合で実施できておりませんが、また来年度以降の実施に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

わかりました。今、地方鉄道や路線バスのテレビ番組があります。私も好きでよく見るんですけども、糸魚川市もメディア戦略をもっとしっかりすれば、鉄道やバスの利用がふえると思います。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるとおり近年そういう旅行番組とかそういうものが、大変人気がありまして、テレビでバス路線を乗り継いでいく旅行番組とかも大変人気があるというふうに伺っております。平岩から蓮華温泉に至る道中につきましましては、大変景観がすばらしく、また、何と申しますか見ていただけるようなスポットもたくさんございます。

ただ、これをいかにメディアから取り上げていただけるかということが大事になってくるかと思っておりますので、昨今は情報があふれている状況でありますので、おっしゃるとおりそういう観光資源をブラッシュアップするとともにメディアの戦略をきちっと立てた上で情報発信をしていくことが大切であるというふうに考えておりますし、今後に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

メディア戦略については、次回3月にジオパークと絡めて質問をしたいと思っております。

では、看護師等の確保の2回目の質問です。

糸魚川市の人口減、財源不足が続くと、糸魚川圏域の地域医療はどうなるのか。その分析と対策について、地域医療のアクションプランが必要ではないのか。行政の計画策定や財政問題にお詳しい藤田新副市長に伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

お答えいたします。

当面のやはり喫緊の課題というのは、医師とか看護師の人材確保というのが一番大きな問題だと思っておりますけれども、もう少し長い視点で考えると、やはり人口減少とか少子高齢化というのは、病院経営に結構大きな影響を今後及ぼしてくると。そういうふう感じております。例えば受診者の減であったり、診療科目の偏りであったり、そういったものがやはり影響してくると思えますし、そのことがやはり病院経営の中で診療科目の減であったり、そういったものにつながるおそれもあるというふうに思っておりますので、やはりそうならないように市民の命をいかに守るかということが、ある意味、行政に課せられた役割でもあるのかなと思っております。

私自身、昨年倒れて、倒れたのがちょうど2時半だったんですけども、その後、ドクターヘリで搬送されて、6時過ぎにはもう手術が始まったということで、何とか生き延びているんですけども。そういうことをそのときにやはり自分なりに考えた中では、市内で全ての医療行為というのが完結できるというのは理想でありますけれども、それができないのであれば、その患者さんの症状に合った医療機関に、いかに早く搬送するか、そういったことが非常に重要になってくるんでないかなと思っております。そういう面で考えると、やはり患者に一番最初に接する救急の消防の方、それから病院、そういった方の連携というのを今以上にレベルアップしていく、そのためのアクションプラン的なものも今後、必要になってくるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

必要だというお話ですけど、やっぱりアクションプランをつくる作業も必要、それから財源問題絡めてやっていかないと、糸魚川の10年後、20年後の医療、本当に保たれているか心配ですね。その点いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

藤田副市長。〔副市長 藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

お答えいたします。

財源という問題もありますけれども、1つは基本的にはやはり医療というのも経営の中で行っているもの、それと市が役割分担をしていくもの、2つに分けられると思っております。やはりそういう中でも市民の命を守るというのは、非常に大切なことですので、病院関係者と相談する中で、それなりに対応はしていく必要があると思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市民厚生常任委員会では、最近の医療現場を知るために糸魚川総合病院に出向いております。ここでは、病院の運営と今後についての厳しいお話を伺いました。近い将来、市民が求める診療科を減らさざるを得ないことを伺いました。それで、私もほかの委員も大変な危機感を持ちました。この厳しい病院経営に対し、行政はどのような手を打っていきますか。改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

院長より、人口規模と成立する診療科との関連について説明を受けまして、今後さらに厳しい状況となることに危機感を持っております。そのような状況の中、糸魚川地域は上越地域との地理的要因による交通手段や時間などを考慮する必要があるとありまして、地域内で一定程度、完結できる体制を維持することが重要であると考えております。そのためにも医師の確保や総合診療医の育成、研修医の受け入れなどの支援を行いながら今後も診療科の存続や充実に取り組んでまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

糸魚川総合病院の一番の課題は、看護師不足です。私は、常に危機感を持ち、その対応を議会でずっと訴え続けています。半年ごとに切り口を変え、一般質問していますが、行政の取り組みと成果はどうですか。担当課と教育委員会に伺いたいと思います。この機会に詳細にご答弁願います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

以前より取り組んでいる修学資金貸与事業では、市内就職につなげております。また、高度医療技術者人材育成事業では、高度な資格取得や認定看護師等の研修に利用いただき、看護師の向上心を高めたり、スキルアップにつなげていただいております。

高校生の病院1日体験事業では、医療職への関心を高め、具体的にイメージができる機会の提供など人材確保、定着を図っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

石川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 石川清春君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（石川清春君）

お答えします。

教育委員会が推進しております子ども一貫教育で、一番重要な学習としてキャリア教育がござい

ます。そのキャリア教育の中で直接医療に触れる機会があります。例えば小学校下学年からは、町探検とか社会見学ということで、病院や医療機関を訪れることがあります。上学年では、仕事について学ぶことが多くなりまして、6年生では職場見学に出かけることがあります。

先ほど議員の質問の中にありました広報11月号には、田沢小学校の子供4人が病院で話を聞いているシーンが出てくるかと思えます。そのほかの学校については、今ここで資料ございませんが、毎年そういう感じで小学校で見学に出かけております。

中学校では、今度、具体的に職業について学ぶ機会がふえまして、2年生では5日間の職場体験を行っております。年によって、参加する子供の数は減ったりふえたりしますが、今年度、特に糸魚川総合病院については、4カ校で11人の子供が職場体験に出かけております。そこで触れて、医療の大切さ等に気づいたという感想を多く述べているというふうに聞いております。

加えて、地域振興局福祉部の事業の1つとして、小中学生の出前講座ということで各学校に希望する学校が病院関係者に来ていただいて、お話を聞く。これは子供と保護者が聞くという機会でございます。30年度に限っては103名が参加しているというふうに聞いております。29年度からの合計では191名ということになります。

最後になりますが、今、小中高の連携が進んでおりまして、小中高の校長先生方が全部集まって、協議をするという機会がふえてきています。特にことは、キャリア教育について特化して、話を進めておりまして、また、その延長上で教育懇談会も考えておりますので、その中でもこの話について触れていければというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

詳細な説明ありがとうございました。今ほどの答弁にもございました、こちら最近の広報いといがわでも、看護師不足を特集し、糸魚川で看護師になることをテーマにしました。こういった市民へのアプローチ、行政の姿勢は非常によかったと思います。市民からの反応について、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

今回の広報いといがわ11月号の特集ですけれども、看護師の仕事の内容がよくわかったですとか、看護師不足の状況がよくわかったということですか、また、看護職の方からは、看護の現状を知ってもらう機会になった。看護師のPRや業務の紹介をする機会になったこと、また、今後も人材の確保、育成に取り組み、看護師を目指す子供をふやしたいなどの声をいただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。



○9番（田原 実君）

それはよかったですね。

このところ地域医療の学習会やフォーラムが、活発に開催され、横のつながりができつつあります。このことも評価をさせていただきます。

ただ、そこに参加しない議員や市民もおられますので、この機会に紹介いただきながら、改めてそれが何のため、誰のためなのかお答えいただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

地域医療フォーラムやみんなで支える地域医療講座などにつきましては、地域医療体制の推進、医療、介護の現場で働く者だけではなく、市民から参加していただくことで、市民が地域医療の知識や現状を理解し、市民みずからが取り組みを考えて、実践につなげるものと考えております。市民、医療、介護、行政が協働して、地域医療を支える仕組みづくりを目指しておる事業です。地域医療体制の確保は、市民一人一人の安心につながるものと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ちょっと厳しい話もしますが、問題はその先です。看護師の育成、確保のプランニングとマネジメントをどこが、誰が、誰と、どのようにするのかということです。

現在の看護師不足への対応が進まないままだと糸魚川、また地域医療体制崩壊の憂き目に遭うのではないか。その危機感が、行政にはありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

看護師不足は、この1年で顕在化しておりまして、深刻な状況であると認識しております。医療現場だけではなく、介護現場でも看護師不足となっており、看護師確保対策は喫緊の課題として捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

きょうは、市民が医療の危機を感じていただいて、取り組んでいただきたいんだという話をしてありますが、まずは行政の皆さんが、そもそも看護師がいなくてどういうことになっていくのか、ちゃんと理解できているか。現場の看護師さんたちが、ゆとりなく疲れ切っていることをちゃんと理解できているかというところからの話だと思えます。

横澤課長、いつもしっかりご答弁いただけていますけども、まず、市民をリードする職員の皆さんが、このことを共有していただきたいと思うんですね。その点いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

地域医療体制を維持していくためには、市民の皆様が安心して地域で暮らすために看護師の役割を大きいものと認識しておりまして、職員一同、認識を持ち、取り組んでおります。病院と定期的に情報交換を行い、看護師の働く環境や現場の状況を確認しながら対策に生かしてまいりたいと考えております。今後とも、看護師対策に取り組んでまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

それには、まず糸魚川総合病院との連携で、看護師確保のアクションプランを市も一緒に進めることだと思います。看護学生の実習の受け入れ、地元出身者の確保、でき上がっている看護師確保、離職対策などのアクションプランの成果が出るまで、市は市の立場で一生懸命やる。そのことが必要だと思いますが、その点を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

市が行っている事業や制度を十分活用していただけるよう病院と情報交換や情報提供を行い、協働して取り組める事業は、一緒に実施するなど人材確保に向けて今後も引き続き、病院と連携を図っていきたいと考えております。

今年度、新規事業として、より多くの方から地元に戻っていただきたいことから、県や病院と一緒に進学先へ情報提供や、また修学生との面談なども計画しておりまして、地元就職へつなげる取り組みを強化していきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

少し観点を变えてお話をします。

これからの地域包括ケアにおける看護提供体制の構築について、お尋ねしたいと思います。看護小規模多機能型居宅介護、通称、看多機をご存じでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

お答えいたします。

看護小規模多機能型居宅介護は、1つの事業所におきまして、小規模多機能型居宅介護サービスに加えて、必要に応じて訪問介護を提供できるものと承知しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

通い、泊まり、デイ、ショート、訪問看護、リハビリ、訪問介護、ケアプラン等の一体化で、地域で暮らすための機能をなすシステムがこれからの地域包括ケアの核となるということで、ここで大切な入院支援、退院支援、そして再入院をさせないように在宅医療の質を上げて在宅生活を長くさせること。このことが看護小規模多機能型居宅介護の目的と考えますが、そういう取り組みにおいて、看護師がいなければ成果が出せないということを行政の皆さんが理解しているのか伺いたいと思います。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

川合福祉事務所長。〔福祉事務所長 川合三喜八君登壇〕

○福祉事務所長（川合三喜八君）

お答えいたします。

看護小規模多機能型居宅介護サービスを提供する事業所は、市内にはございません。市内にある小規模多機能型居宅介護や訪問介護、通所介護、ショートステイと訪問看護のサービスを組み合わせてご利用いただく中で、看護小規模多機能型居宅サービスの機能を補えるものと考えております。地域包括ケアにおきましても、看護師の役割は重要でございます。現在、市内に訪問看護の事業所が4事業所ございます。今後も訪問看護の件数がふえる見込みでございますので、看護師の人材確保に努めてまいりたいと思います。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

看護師の人材確保に努めるというご答弁をいただきました。地域包括ケアの中での市の役割は、市が主体的に地域包括ケアを牽引し、マネジメントすることです。

しかし、看護師不足への市のアクションは、本気なのか。糸魚川総合病院や福祉施設に頼って、やっているかのように装っているのではないか。地域包括ケアにおける人材確保は、6月定例会で山本市民部長よりご答弁いただきました。改めて、部長に市の役割と責任を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

山本市民部長。〔市民部長 山本将世君登壇〕

○市民部長（山本将世君）

お答えいたします。

看護師不足については、これまでも答弁させていただいており、大変厳しい状況という部分については十分認識をさせていただいております。そういった部分の中で学校等でのキャリア教育、長い目では、学校教育のキャリア教育、そういう部分の中で保健、医療、そういったものに関心を持っていただく取り組みをさせていただきますし、伝えておりますし、また、先ほど横澤課長が申し上げましたように、近々の部分につきましては、今現在、修学資金貸与等を受けていらっしゃる医学生に対する面談、そういった部分の中で糸魚川市での雇用状況、またそういったものをご説明し、糸魚川にお戻りいただける。そういった個別の取り組みを精査させていただいております。そういったものを長い目、端的な部分を組み合わせながら進めてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

私、部長に伺ったのは、市の役割と責任はいかがかというところだったんで、そこをもう一度お答えいただけますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

山本市民部長。〔市民部長 山本将世君登壇〕

○市民部長（山本将世君）

大変失礼いたしました。

市につきましては、やはり全市的な医療体制等を構築する立場でございますので、全体的な部分の中で不足する、そういったものを目くばせしながら進めていく部分だというふうに思っております。そういった部分の中で、今回の看護師の不足につきましては、私どもがやっている施策の中で医療技術者等の貸与事業の中で看護師を入れている、そういったものもございますし、そういった私どもができる部分についてはさせていただきますし、やはり私ども単独の中で難しい部分につきましては、昨年からはじめております県との、県事業の中で取り組んで、そういったものを組み合わせながら進めていくべきだというふうに思っておりますし、そのように進めさせていただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

いろいろとやっていただいていることは理解できるんですけど、これだけ看護師不足だといってる時への対応としての市の役割と責任はどうなんですかということ伺ってるんですよ。もう少しそこのところをはっきりとお答えいただけませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

山本市民部長。〔市民部長 山本将世君登壇〕

○市民部長（山本将世君）

看護師不足につきましては、私ども、直ちにどちらかから人を持ってくるというようなことについては、大変難しいと思っておりますので、やはりいろいろな取り組みを重ねる中で進めてまいりませんと、直ちに解消するものではないと思っております。

ただ、そういった部分の中で市の役割については、大変重いというふうに思っておりますので、糸魚川総合病院様、また、医師会様、また県等の連携をとりながら進めていくべきだというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、この質問の最後に、現場で頑張る看護師さんのモチベーションを上げていただくことについて伺いたいと思います。

横澤課長は、看護師さんの気持ちもわかってくださるのではないかと私は思うのですが、人手不足の中で疲れても頑張る看護師さんたち、何を望んでいるとお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

先ほどの広報いといがわ11月号を紹介させていただきましたが、子供たちの病院訪問で、子供たちが関心を持って職員に質問をしたり、また、人のためにする仕事への憧れ感や自分もこんな仕事がしたいという思いが、職員に伝わってきて、気持ちが高ぶったと。自分たちの仕事に改めて誇りを持ったという声を聞かせていただいております。仕事が認められるということは、モチベーションを上げることにつながりますので、医療職の業務や現状をより多くの市民の方に伝えられるように今後も市は取り組んでまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

そのとおりだと思います。私も看護師さんの存在意義を認めて、看護師さんを大切にしているということを市があらわしていく。このことが大事なんじゃないかと思うんですけども、今後もそのようなふうに取り組んでいただきたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

横澤健康増進課長。〔健康増進課長 横澤幸子君登壇〕

○健康増進課長（横澤幸子君）

今後も現場で働く看護師の皆さんの思い、また現状、そして仕事内容を市民の皆様にしっかりと伝えて、取り組んでまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

その上で、看護師、病院に喜ばれる事業、例えば看護師の研修支援等の制度を整えていくこと等が必要かと思います。既にやられているものもあろうかと思います。現在、来年度の予算編成の最中と思いますが、それぞれそういった対応をどうされるか、米田市長に伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ほどのご質問、また答弁の中にありますように非常に今、糸魚川市においては看護師不足、これは糸魚川市のみならず、県内、また全国で同じ状況にあります。そういう中で市の果たす役割というのは、非常に大きいものがございます。そういう中でしっかりとその事業に対しては取り組んでまいりますし、これはもう現場の声を聞く中で我々は施策を今つくっておる状況でございますので、その辺はこの方向で、新年度も取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

米田市長がジオパークだけでなく、医療の再生、医療のまちづくりを進めていただいている、このことは、私、よくわかっております。ぜひ来年も予算をしっかりと組んでいただいで、取り組んでいただきたい。どうぞよろしく願いいたします。

時間がなくなってきましたが、復興再生まちづくりについての2回目の質問をいたします。

まず、被災者、近隣住民からの要望について、再度伺います。

新鮮な食材を買うことができる施設、例としてJA食彩館のようなものを被災地周辺につくっていただきたい。そういう、特に高齢者の方の声がありますが、これはなぜできないのでしょうか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

池田農林水産課長。〔農林水産課長 池田 隆君登壇〕

○農林水産課長（池田 隆君）

JAひすい食彩館の駅北での営業の可能性について、ご説明をさせていただきたいと思います。

JAひすいにつきましては、以前、被災者の声をお届けし、どうでしょうかというような話をさせていただきましても、人口でありますとか、人通りでありますとか、車の往来などから集客、

売り上げ、採算性を考慮すると店舗を設置し、経営の継続をすることが困難だというような判断をされたというふうに理解をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

何か月も前から、この話は議会の中で出しておりますが、その後、JAひすいさんと話し合いを重ねていますか。あるいは生産者さんを回って、こういった場所をつくっていこうという取り組みを市が進めていますか。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

池田農林水産課長。〔農林水産課長 池田 隆君登壇〕

○農林水産課長（池田 隆君）

JAひすいでは、今の食彩館の土地の借地期間が迫っておりまして、移転を検討されているということをお聞きいたしました。これを機に、駅北への移転も合わせて検討していただくようお願いをさせていただきましたけども、引き続き、中央大通り線で営業したい旨の意向であるというふうに確認をしております。

また一方、最近ですけども、ある生産者から駅北で無人の野菜店舗を出店してみたいという話もありましたので、まずはこのような意向を大切に、直売所の実現に向けて取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

先日、きのうですかね、新保議員の質問にお答えになっていた土曜楽市とそういったものを拡大していったらというようなお話だったと思いますけど、やはり住んでいらっしゃる方、それから復興市営住宅ですか、そちらに今度、越してこられる被災者の方は、やっぱり生活のために食材を買う場所が欲しいと。できればJAひすいの食彩館のようなものをというふうに言ってるわけなんですよ。どうでしょうか、そういう困っている皆さんのために行政はもっと英知出して、行動していくべきじゃないでしょうか。被災者の気持ちに寄り添う、市民の気持ちに寄り添う、そういう復興再生のまちづくり進めていただけませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

池田農林水産課長。〔農林水産課長 池田 隆君登壇〕

○農林水産課長（池田 隆君）

被災地周辺の方々については、かつては商店街としていろいろ野菜でもお肉でも魚でも買うとこ

ろがあって、便利だったかと思えますけども、今現在は、そういうところが本当に少なくなってきました。

また、お年寄りも多いということは、承知をしております。被災者の声に寄り添うということは、これまでも、これからも大切だというふうに認識をしております。駅北で買い物をできるというようなことについては、先ほども、今ほども説明させていただいたようにJAひすい、農業生産者の窓口担当課として、今後も引き続き努力をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

やっていきたいというご答弁なので、余りしつこく食い下がるのもどうかと思えますけども、どこかでできない理由を考えてから動いてるんじゃないか。困っている方を何とか救いたい、その気持ちが必要なんじゃないでしょうか。

その一方で、農業の6次産業とか、ギブミーベジタブルとか、イベントをやってますよね。被災者や住民の声のほうが、ギブミーベジタブルなんです。こっちのほうから何とかしてください。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

池田農林水産課長。〔農林水産課長 池田 隆君登壇〕

○農林水産課長（池田 隆君）

ギブミーベジタブルというイベントについては、先般、開催をさせていただきました。これについては、地産地消を推進するイベントということで、議員も恐らくご承知だと思います。昨年については、上早川の焼山の里ふれあいセンターで行いましたけども、今回は消費者に近い、共場糸魚川コモンズに会場を設定させて、実施をさせていただいたものであります。これからも被災者の意見、近くで食料を買いたいというものについては、産業部を中心に今後も取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

昨日も池田課長の答弁からなんですけど、農業の6次産業化ですか、食を通じたチャレンジ、にぎわい広場のところでやるような話されてましたよね。そういうことが、このマルシェでの地場産の野菜販売というものと、つながっていくんじゃないか。野菜を集めてきて、地元の野菜を集めてきて、それをにぎわい広場のそこでいろいろと加工して、皆さんに召し上がっていただく。それが産業になっていくという、そういうストーリーの中にですよ、地元でつくった野菜を集めることってできますでしょ。そこをやってほしいと思うんですよね。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）



池田農林水産課長。〔農林水産課長 池田 隆君登壇〕

○農林水産課長（池田 隆君）

6次産業化の一環として、糸魚川市の食材を使って加工されて、そして販売をされておるとい  
方は何人もおられます。今、田原議員おっしゃいますように、例えばそれをにぎわい創出広場へ集  
めて、そこで販売するということについては、可能だというふうに考えております。

ただ、それについては、可能な範囲で、その民間ベースで何とか利益が上がる。そんな仕組みづ  
くりというのが、まず必要でないかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

さっきも言いましたけど、やれる条件がどうだとかということじゃなくてね、何とかしてやろう  
という気持ち、これが出てこないと市民の皆さんはね、復興していくんだという気持ちにならない  
んじゃないですか。もう一つ汗のかき方が足りない、私はそう思います。で、これをやることで、  
日常的なにぎわいの創出になっていきますよね。

さて、日常的なにぎわいの創出についてですが、いつ、どのように、話し合いをされましたか。  
その結果はいかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

にぎわいづくりのお話につきましては、現在、まちづくり市民会議の皆さんからのご意見をいた  
だきながら整理をしているところでございます。まちづくり市民会議につきましては、11月の  
6日までに4回ほどやっております。その中で、にぎわいのイメージというものはどんなものか  
ということ、皆さんからお話しいただいて、それに向かって駅北地域でどんな役割があるんだら  
うか。その姿はどんなものだろうか。そういったあたりを今、話をさせていただいております。今後は、そ  
れに向けた、実現に向けた提案をいただくという予定にしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

重ねて伺います。

日常的なにぎわい創出について、どのように話し合いをされましたか。その結果はいかがですか、  
伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

にぎわいの中で、特にイベント時とか日常というような区別ではなく、基本的には市内から、市外から目的を持ってまちに人が集ったり、糸魚川に魅力を感じた人たちがたくさん訪れている。そういう方、それから、住民の皆さんの結びつきが強く、そういったところでの交流で、また人々が集っていると。そういったイメージということで、お話をいただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

まちなか図書館と相馬御風学習館について話し合いをしましたか。その結果はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

今ほどの市民会議や、あと市の中でのいろんな話の中で、子育ての支援を中心にしながらというお話はしておりますが、まだその部分での、そこまで掘り下げた具体的な内容の提案や市のほうからのご提言とかといいますか、そういった発案等については、まだ示しておりませんし、今後そういった施設についても検討は重ねていきたいということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市民の声として、私、ここで話ししてるんですね。以前にも話しました。まちなか図書館の設置や相馬御風学習館は、にぎわいをつくり出す有効な手法です。市民ニーズがあります。このことをちゃんと調査し、検討した上で答弁をいただきたいけども、今後、検討してまいります。その繰り返しじゃないですか、どうなっているんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

まずは、にぎわいの拠点、それから広場、そういったところでどんなようなにぎわいづくりをしていくかというお話の中を今本当に入り口の部分を議論していただいているところであります。なので、そういった中で図書館や御風さんをテーマ、そういった魅力を発信というお話もいただいております。それらについては、具体的に今後、施設の機能なり、そういったものを考えていくところで検討していくというものになろうかと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

12月7日の新潟日報に、神奈川県大和市の文化創造拠点シリウスの記事があり、そこは飲食、読書を思い思いにできる空間、誰もがぶらりと来て、長くいることができる場所であります。町なかに付加価値のある図書館をつくるのが、今のまちづくりの潮流としてあります。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

図書館が、1つのまちのにぎわいに寄与するといった事例、全国にかなり出てきているというのも我々も学んでおります。そういったものも含めて、本当に市民の皆さんに喜んでいただける場とはどういうものなのか、それについても今後、そういった中で話ししながら機能を決めていきたいということでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

20年後の糸魚川の町なかのにぎわいづくりには、新しい形の拠点施設が必要だと議会で議員が要望してることに對して、そんなに軽く答えていいんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

現在、その拠点の必要性も含めた方針、方向性について検討しているところですし、決して議会のほうからご提案いただいている、そういった新しい取り組みにつながるような、そういった施設ということを見逃しているわけでもございません。そういったものも含めて、今後の施設内容等についての方向性を決めてからになります、そういったものの内容検討ということにつながるというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

にぎわい広場の土地、1,336平米の不動産価値、市場価値は幾らですか。また、にぎわい創出広場の建物の建設費の坪単価は幾らですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

広場につきましては、評価額でありましょうか。

すみません。反問をお願いします。

○議長（五十嵐健一郎君）

反問を許します。

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

もう一度確認させてください。

広場のほうは、評価額ということでございましょうか。失礼しました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

私は、土地の1,336平米の不動産価値、市場価格は幾らですかというふうにお尋ねしました。

これは以前の駅北大火特別委員会の中でも、私、質疑したんですけど、そこではお答えいただけないものでありましたので、お調べになってるかなと思って伺っております。

○議長（五十嵐健一郎君）

反問を終了いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

お答えします。

評価額と言いますより、我々の取得額として、おおむね5,700万円ほどになっております。

それから、現在まだ設計のほうは、細かく積み上げてはおりませんが、にぎわい創出広場の建物につきましては、おおむね平米単価12万ほどの予定にしております。

○9番（田原 実君）

よく聞こえなかった幾ら。平米単価幾ら。

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

平米単価で12万円。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

1億8,000万の建設費で、延べ床面積で割るとそんなもんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

大変失礼しました。今、発言は訂正させていただきたいと思います。

坪単価であります。坪で120万円ほどの建設費ということで。

〔「議長、休憩お願いします。」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

暫時休憩します。

〈午前11時22分 休憩〉

〈午前11時24分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

暫時休憩しまして、35分再開といたします。

〈午前11時24分 休憩〉

〈午前11時35分 開議〉

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

大変申しわけありませんでした。ちょっと私、資料のほうを読み間違えたりしまして、申しわけ  
ございません。ご迷惑をおかけしました。

平米単価で41万7,000円という計算で考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

そうすると坪に直すと138万ぐらいになりますかね。非常に高額であります。どうしてこんなに  
に建設費の高いものをつくろうとしているのでしょうか。民間で競争入札すれば、この半額ででき  
ますよ。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

これにつきましては、現在概算、基本設計の段階での概算ということではじいております。できるだけ今後、実施設計の中で価格については押さえていく方向では検討したいとしておりますが、現時点で我々が想定している予算ということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

見辺産業部長。〔産業部長 見辺 太君登壇〕

○産業部長（見辺 太君）

お答えします。

非常に高い建設費だといったことでございますけども、やはり公共工事における、何と申しますか諸経費とかそういったものは、国の基準とかそういったものがございまして、適正な公共施設をつくるために必要な諸経費といったものをしっかりと計上した中で公共施設をつくるといった目的がございまして、民間と比較してとかといったことよりは、市としてはしっかりとした基準に合ったものをつくっていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

1億8,000万の建物をつくって、それを20年間仮に使っていかうとした場合、メンテナンス費用も含めて一体幾らになるんでしょうかね。20年間で大体、建設費の3倍ぐらいかかるという話を聞いております。莫大な税金がそこで使われていくんですけど、だけど、そこでの収入というのは、ほとんど見込めないんですよ。どういう事業計画なんですか。そういったところからのスタートというものは、全く考えていないんですか。高い建物の発注ありきですか。おかしくないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

今後の運営につきましては、できるだけ価格を安くといいますかハードルの低い設定で使用していただきながら、そこから少しでも維持管理費についての費用が捻出できるような仕組みで、この運用を図っていきたいというふうには想定しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

紫波町のオガールでは、民間事業者の方が知恵を出して、行政と連携して、とにかくまずはコストを抑えることだと。それでニーズのある建物を駅前につくって、その周辺の開発をして、土地の付加価値を上げていったという開発の手法をとったというのを、斉藤課長も一緒に行ったじゃないですか。副市長も皆さんも一緒に行ったでしょう。なのに何でそういった手法から学んで、ここで生かそうとしないんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

確かに特別委員会の皆さんと我々もオガールのほうへ行って、お話を聞いたりしております。確かにオガール方式についても今までにない公共施設、それから官民の施設の複合といったところで、全国的にも成功事例ということで学んできております。

ただ、現在市のほうで考えておりますこの創出広場につきましては、やはり復興というスピードを持って取り組む部分の1つとして考えていった場合、オガールのような形でやるには、やはり非常に時間を要するという部分がございます。それから、規模等についてもそういったものを含めて、できるだけ早くこの部分については取り組んでいきたいといった中から、今までどおりの方法ではありますが、官で設計し、官で建ててということ考えておるわけです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

単なる言いわけにしか聞こえません。特別委員会で斉藤課長は、にぎわい広場、建物は、近所の方が集まる茶飲み場と考えていると答えています。大火の記録を展示し、学習する場所に、被災した近所の人が気軽に来てくつろげますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

これにつきましては、今後のそういった大火の部分の展示の方法や、そういったところで調整は可能ではないかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

斉藤課長は、同じくにぎわい広場に樹木が必要という私の意見に、木陰が必要な人は、ほかの広場へ行けばよいと答えています。これ、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

私の記憶する限りは、何といえますかそのような表現で言った覚えはちょっとございませんが、ただ、その木陰についても今後の実施設計の中で検討しますというご回答をさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

建物西側の4メートル幅の土地40坪は、使えない死に地です。これ、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

お答えします。

そちらについては、現在の想定では、管理用の通路とか、そういったもので活用するというところで考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

雁木を歩いてきて、また、わざわざ雨・雪が降るところへ出てから建物に入ります。玄関の雨よけ、ひさしがない、雪国仕様ではありません。これ、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

このあたりも今後の設計の中でどのようにするか工夫をしていかならんというところでありませす。今も進めてる中で、ひさし等についての検討を事務所と進めているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

大きな引き戸の間仕切りでは、音はじゃじゃ漏れ、足元はすかすか、冷暖房費も相当かかります。利用者への配慮がない、維持管理に金が相当かかる設計です。これ、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕



○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

基本的には、あそこについては広場使い、広場だけ全天候型というご説明をさせていただいてと思います。その中で、せっかく屋内ですので余り極端な、暑かったり冷たかったりとするような環境づくりはしたくはないんですが、できるだけ経費をコストを抑えられる形で設備等についても今後、検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

昨日の東野議員、新保議員への答弁で、この建物建設の目的をイメージとかテーマで語るなど、いまだ不明確、当然、管理運営の中身も検討を決定していない。

その一方で、市民の税金での高額な建設を進めて、民間事業者へ委託する話を進めていることがわかりました。防災意識啓発とイベント企画だけなら、今のまちづくり情報センターで十分ですよ。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

お答えします。

いろんな方々が集まって活動する場として、今回のにぎわい創出広場については計画しておるものです。それなりに大きさ等が必要ということで、現在の設計内容になっておるわけです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ここが特定の者が、ただで使う豪華キッチン付きの施設、あるいは野村防災の事務所と倉庫にはならないでしょうね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

齊藤復興推進課長。〔復興推進課長 齊藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（齊藤喜代志君）

お答えします。

個人名が挙がっていることが、よく私には理解できませんが、当然多くの皆さんから使っただけのものとして今後の管理運営、そういったものを進めていくというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

目的が、まだあやふやで、しかも市民の税金をずっとつぎ込むような施設をなくてはならないものとして、SPC、特別目的会社とは、まさかしませんよね。伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

斉藤復興推進課長。〔復興推進課長 斉藤喜代志君登壇〕

○復興推進課長（斉藤喜代志君）

官民連携、公民連携の中でのSPC、特別目的会社というのは、あるものでございます。今の時点でそれを否定するという内容ではないかと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

東野議員が話をされていたように、この施設が権現荘のようにならないためには、ちゃんとした運営計画と管理方法を示し、そこから建設にかけてよい費用を考えていく、紫波町オガールで学んできたことを生かすべきです。でなければ、いま一度計画を白紙とすべきです。

終わります。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

次に、古川 昇議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

古川議員。〔16番 古川 昇君登壇〕

○16番（古川 昇君）

市民ネット21、古川 昇であります。

最初に、訂正のお願いをしたいと思います。

2番の権現荘運営についてであります。（3）「自主返納金」というふうに表現をしております。金曜日の論議を聞いておりまして、「自主弁済金」というふうに改めたいと思います。その下の、